

旭川空港のレルヒ中佐

北海道・道北の旭川空港駐車場には、日本のスキーの父とも云える「テオドル・エドラ・フォン・レルヒ中佐」の立派な銅像が観光客を迎え、旅の安全を祈っている。

レルヒ氏は、1912年2月6日旭川の第7師団野砲第7連隊付きとなり、旭川に赴任し、2月20日から3月11日まで第7師団の各連隊の将校達がレルヒ氏からスキーの指導を受けたとのことである。

その後、オーストリアに戻ったレルヒ氏は少将に昇進し、1945年12月23日ウィーンにて77歳のその生涯を閉じ、ウィーンの中央公園墓地に眠っている。

レルヒさん・・・ありがとう！！ シー・ハイル！！



また今度、ウィーンを訪れたらレルヒ氏の眠っている中央公園墓地の墓前に・

